

## 隊員を対象に合同企業説明会



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、7月13日（水）、御殿場市内で行われた「平成28年度静岡県任期制隊員合同企業説明会」（主催・自衛隊援護協会東京支部）を支援した。この説明会は、県内での就職を希望する20代から30代の任期満了退職予定隊員等を対象に、雇用協力企業等合同による説明会を実施し、早期かつ適切な就職援助を図るとともに、隊員と企業双方に対する予備自衛官及び即応予備自衛官制度の普及促進を目的として行われた。

当日は、県内の企業等57社と退職を予定する陸・海・空の隊員48名が参加し、皆真剣な面持ちで企業の説明に聞き入り、退職後の次なる世界の情報を収集していた。

参加した隊員からは「少人数ごとの面談で、企業をより深く理解することができた」「色々な職種の話聞くことができ、考えていた職種とは違う分野にも興味が湧いた」等の声が聞かれた。

企業の担当者は「皆真剣に将来を考え話を聞いてくれて、有意義な時間であった」「この縁を大切に、今後の採用に役立てたい」と話していた。

静岡地本は、今後も隊員の再就職援助活動を全力で実施し、退職予定隊員と企業双方の架け橋として尽力するとともに、予備自衛官等制度説明を丁寧に実施し予備や即応要員の確保に努めていく。

## 「水中処分母船3号」が過去最大の集客



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、7月17日（日）、大井川港（焼津市）で開催された第16回踊夏祭において、海上自衛隊の艦艇「水中処分母船3号」と協力し広報活動を実施した。

水中処分母船3号は、横須賀を母港とし、水中に存在する機雷や不発弾の処理を行う「水中処分員」の活動を支援する艦艇である。朝10時の一般公開開始から多くの家族連れが乗船し、潜水用器材、処分艇、ダイバー用昇降機など各種装備の見学を通し、同船が果たす役割への理解を深めていた。

一方、静岡地本は、この船の停留する岸壁で広報ブースを設け、パネル展示、制度説明、自衛隊車両の展示など、艦艇広報と地本広報のコラボによる相乗効果を図った。

また、祭りで行われた「おどろっかD.E志太キャラ大会」において、静岡地本から「しずぼん」が出演し、今年度のゆるキャラGPにおいて「自衛隊関係ゆるキャラでの2連覇」を決意表明し、訪れた多数の観客から応援の拍手喝采を浴びた。「しずぼん」はこの勢いそのまま水中処分母船3号に乗船すると、来場者は大いに喜び、夢の競演はこの日のハイライトとなった。

乗船者数は同船初の4桁を突破して、これまでの記録を大幅に更新する約1400名にも迫り、広報活動は大盛況で幕を閉じた。